

小学校 特別活動

1 改訂の趣旨及び要点

目標の改善

※「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点で整理

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力の育成を目指す。

知識・技能の習得

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

思考力・判断力・表現力等の育成

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、**合意形成を図ったり、意思決定したり**することができるようにする。

学びに向かう力・人間性等の涵養

自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び**人間関係をよりよく形成**するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

内容構成の改善

※特別活動は 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事から構成

内容項目の変更

キャリア教育の視点からの小・中・高のつながりを明確にするため、学級活動(3)の内容項目が設けられた。

現行学習指導要領

〔学級活動〕

- (1) 学級や学校の生活づくり
- (2) 日常生活や学習への適応及び健康安全

新学習指導要領

〔学級活動〕

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3) **一人一人のキャリア形成と自己実現**

- ア** 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
- イ** 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解
- ウ** 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

※学級活動の内容は全て、いずれの学年においても取り扱うもの

「**キャリア形成**」とは、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための働きかけ、その連なりや積み重ねのこと。
 これからの学びや生き方を見通し、これまでの活動を振り返るなどして自らのキャリア形成を図ることは、これからの社会を生き抜いていく上で小学校においても重要な課題です。

改善のポイント

☆自治的能力、積極的に社会参画する力を育てることを重視

- ・学級や学校の課題を見だし、よりよく解決するため話し合っ合意形成することが重要
- ・主体的に組織をつくり、役割分担して協力し合うことが重要

○学級活動の学習の過程として、合意形成または意思決定を行うことを明確化

学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」については、集団としての合意形成

学級活動(2)「日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」については、一人一人の意思決定

学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」については、一人一人の意思決定

「**合意形成**」とは、一人一人の思いや願いを大切にしながら意見を出し合い、共通点や相違点を確認したり、分類したりして、様々な解決の方法を模索したり、折り合いを付けたりし、学級としての考えをまとめること。
 同調圧力に流されることなく、批判的思考力を持ち、意見の違いや多様性を認め合い他者の意見も受け入れつつ自分の考えも主張できるようにすることが大切です。

「**意思決定**」とは、学級での話し合いを通して、多様な視点から解決方法を見つけ、現在及び将来に向けた自己実現のために、自己の生き方を選択・形成すること。
 児童が自ら決めたことを実践して振り返り、自ら改善することができるよう事後指導が重要です。

2 小学校特別活動における授業づくりのポイント

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

特別活動における「主体的な学び」の実現

学級や学校における集団活動を通して、生活上の諸問題を自分たちで見だし、解決できるようにする

特別活動における「対話的な学び」の実現

「話し合い活動」を通して、考え方を協働的に広げ深めていく。体験活動などを通して自然と向き合い、学校生活では得られない体験から新たな気づきを得る

特別活動における「深い学び」の実現

課題の設定から振り返りまでの一連の活動を「実践」とし、そのプロセスで教科等の学習で身に付けた知識や技能を働かせ、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」に関わる議題や題材に取り組むよう意図的・計画的に指導していくようにする

学習過程を明確にした授業づくり 学級活動(1)と(2)(3)の例

	学級活動(1) 〈集団としての「合意形成」〉	学級活動(2)(3) 〈一人一人の「意思決定」〉
事前の活動	生活上の諸問題から課題を見だし、学級全員で「議題」を決定 例) ・「転校してきた〇〇さんに学級のことを知ってもらい、仲よくなれる会がしたい」(議題ポストに提案) →計画委員会で議題を選定し、学級全体で決定 議題「〇〇さんをむかえる会をしよう」 →計画委員会で提案理由・話し合いのめあてなど準備	日常生活における共通の問題から教師が「題材」を設定 例) ・学級活動(3)で題材「中学校生活に向けて」を設定 →1年間の振り返り 児童が今まで記入してきた学級活動ノートや作文等を読み返し、4月に立てた目標やこれまでの自分の頑張り等を振り返る →中学校生活の楽しみ、不安を事前アンケート
本時の活動(話し合い活動)	内容や方法、役割分担などについて意見を出し合ったり、くらべ合ったりしながら話し合う 例) ・「みんなのことを知って〇〇さんによるこんでもらえる内容と工夫をきめよう」 ・内容、工夫、必要な役割等について話し合う	原因や改善の必要性を探ったり、具体的な解決方法を見付けたりするために話し合う 例) ・「中学生になるにあたって不安もある。どんなことに取り組めば自信をもてるようになるかな」 →学級全体で話し合い、考えを広げる 「通学時間が長くなる。自分で早起きする」 「部活動で活躍するために、習い事をがんばる」
	意見の違いや多様性を認め合い、折り合いをつけて集団として「合意形成」を図る 指導・助言) ・今回よかったこと、次回の課題を話し、よりよく合意形成を図って話し合うことができるように ・声かけで実践意欲が高まるように	話し合いを生かして、自分に合った具体的な解決方法や個人目標を一人一人が「意思決定」する 例) ・今から卒業までに取り組むことを決める 「中学校では自学自習の力も必要だ。卒業まで、今まで読んだことのないジャンルの本を毎日10ページ以上読もう」
事後の活動	決定したことについて、自己の役割を果たしたり、互いのよさを生かして協働して実践したりする 例) ・会の役割分担をし、準備、実践する	意思決定した解決方法をもとに目標の実現に向けて、個人で実践し粘り強く努力する 例) ・読書を毎日10ページ以上行い、記録をつける ・目標に向け、他にできないか考える
	一連の実践の成果や課題を振り返り、次の課題に生かす 例) ・感想を発表したり、振り返りカードを書いたりして、互いのよさや頑張り認め合う ・「学級活動コーナー」に実践したことを掲示し、活動の歩みを残す	実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、次の課題解決に生かす 指導・助言) ・定期的に振り返りの時間を設け、意欲の継続を図り、今後の生活の仕方を意識できるように

次の課題解決へ